

《履修上の留意事項》 これまでに修得した全学教育科目、専門基礎科目及び専門科目において学んだ知識を基盤としながら、理学療法学の中で生じた基礎的あるいは臨床的な疑問点や問題点などに対して研究課題を明確にし、科学的かつ妥当性のある手続きに沿って研究を行い、医学的な結論を導き出す。それらを通して、研究法に関する論理的な考察と推論する能力を体得することを目的とする。

《担当者名》○武田涼子 r-takeda@hoku-iryu-u.ac.jp 泉唯史 青木光広 山口明彦 鈴木英樹 吉田晋 小島悟 高橋尚明
佐々木祐二 澤田篤史 長谷川純子 井上恒志郎 大須田祐亮 鈴木伸弥 中村宅雄 山根裕司 佐藤一成 岩部達也 多田菊代 河治勇人 只石朋仁

【概要】

理学療法研究セミナー で探索した研究課題について、文献検索および抄読を発展的に進め、研究計画を立案し実施する。さらに得られた研究結果の分析および考察、研究論文としてのまとめ、成果の報告（プレゼンテーション）を行うことで、理学療法学分野における研究方法の実際を習得し、学術的視点からの研究実践能力を身につける。

【学修目標】

理学療法分野における科学的基盤を構築していくため、先行研究の調査に基づいて立案した研究計画の実施および研究成果のプレゼンテーションを行う。

1. 研究テーマおよび研究計画に基づいて研究を遂行できる。
2. 適切な手続きによって結果と結論を導くことができる。
3. 研究課題の結論に基づき、プレゼンテーション資料を作成し発表できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 30	研究課題と研究計画に基づく調査・実験 研究内容の要旨作成 プレゼンテーション資料の作成と発表	各ゼミ担当教員の指導のもと、理学療法分野や隣接領域における研究課題と研究計画に基づく調査・実験に取り組む。 データ分析および考察を行い、研究内容の要旨を作成する。 発表のためのプレゼンテーション資料を作成する。 研究内容を規定のルールに従って発表する。	担当教員全員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ゼミでの積極的な参加 60%

プレゼンテーション資料作成および発表 40%

【参考書】

特に指定しない。

【備考】

特に指定しない。

【学修の準備】

各ゼミの担当教員の指示に従い研究セミナーのテーマの設定やプレゼンテーションについての準備および課題の整理をしておくこと。予習（セミナーの準備）についてはおおむね80分、復習（課題の整理など）についてはおおむね80分、計160分の予習・復習の時間が必要。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP6）社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法学の開発を実践できる能力を身につけている。